



すみだだより

令和6年12月3日 校長 朝日滋也

文化祭は「さいこう」

11月30日の第44回文化祭には、多くの方々に御来場いただき、ありがとうございました。保護者の皆様には、週末、文化祭の感想をお子さんとお話されたことと思います。

この1か月、文化祭への盛り上がりはとても熱いものがありました。普段とは違う雰囲気戸惑う子供もいましたが、見通しがつくにつれ、また仲間との関わりに徐々にそのうねりに入ってきてくれました。創立から46周年、47年の歴史のある本校でなぜ44回目の文化祭なのか、ちょっと調べてみました。本校の歴史をさかのぼってみます。

本校は、昭和53年に開校しましたが1年目は水元養護学校（現特別支援学校）の敷地を借りてのスタートでした。昭和54年2月に現在の場所の新校舎に移り、同年12月14日に第1回の文化祭が行われます。昭和55年度は運動会だけの実施で翌昭和56年度に第2回の文化祭、おそらく大きな行事は1年おきにやろうと考えたのだと思います。しかし、運動会も文化祭も子供たちにとって重要な学校行事だと考え、第3回以降は2つとも毎年の実施となります。10周年の記念誌を読むと、卒業生も「運動会、文化祭は楽しかった」と寄稿文を寄せています。

令和の時代の文化祭について、表にまとめてみました。

年度	回数	生徒が考えた文化祭のテーマ	参観の条件 他
令和元年度	40回	2019 ようこそ令和元年 未来へ輝け！オリジナル文化祭	
2年度	—	(新型コロナウイルス感染症拡大のため中止)	
3年度	41回	前へ、笑顔の文化祭！ 出発進行！	事前撮影、家族1名
4年度	42回	SUMIDAパレード☆すてきな文化祭 みんなの心一つに！！	交代制、予約制
5年度	43回	やっとなんで文化祭！ 2023	関係者の制限なし
6年度	44回	さいこうの文化祭にしよう 2024	仮設校舎使用1年目

私事ですが、高校3年生のとき、文化祭の実行委員長でした。文化祭は大好き人間です。その頃の思い出話はいくらでもできます。今でも母校の文化祭は気になるどころです。

ですので、コロナ禍の苦しい時期、特に令和2年度の卒業生は無念なことだったろうと思います。その分、昨年度からは、本校の卒業生や保護者にも御来場いただきたいとホームページ等で御案内をさせていただいています。

コロナ禍を乗り越え、今年は「さいこうの文化祭にしよう」と児童・生徒が頑張ってくれました。これからも墨田特別支援学校の文化祭は、歴史を積み重ねていきます。本校を卒業しても、またぜひ、来てください。

文化祭は皆さんの「ホームカミングデー（母校に集まる日）」です。



12月は、「笑顔と学びの体験活動プロジェクト」

コロナ禍により、友達との関わりや行事等に様々な制約のある学校生活を送っていた子供たちに向けて、東京都教育委員会は、令和4年度に都内の公立・私立学校を対象に「子供を笑顔にするプロジェクト」を始めました。令和5年度からは、「笑顔と学びの体験活動プロジェクト」として、都内公立学校を対象に、体験活動の充実に向けた場の提供を継続していただいています。

高等部	12月5日（木）	歌舞伎座にて「十二月大歌舞伎」『あらしのよるに』を観劇
小・中学部	12月16日（月）	アフリカ文化にふれるアフリジャコンサート 本校体育館にて生演奏

(小学部文化祭)

高学年は、体育館で舞台発表をしました。開会式のオープニングでは、4年生がステキなマジックとダンスを披露し、たくさん盛り上げてくれました。5年生は、「すみだサーカス団」が個性あふれる大道芸やダンスを披露しました。6年生は、大事に育てた大きなかぶを険しい道を乗り越え、みんなで力を合わせて収穫することができました。低学年は、1階の小ホールで学習発表をしました。1年生は神様を元気付けるために得意なことを披露し、空に虹をかけることができました。2年生は、曲がりくねった道を渡り、カラフルな星を選んで買うことができました。3年生は、「うみのおんがくかい」で楽しいダンスや楽器演奏を披露しました。

ドキドキ緊張した顔、わくわく楽しみにしている顔、「できた!」「がんばった!」うれしそうな顔、子供たちの様々な表情を見ることができた文化祭でした。保護者の皆様、あたたかく見守っていただきありがとうございました。
(小学部：矢形 比奈)

(中学部文化祭)

1年生は「すみだ sur les シャンゼリゼ」というテーマで発表しました。パリオリンピックに日本代表として出場するという設定と作業のPRが上手に組み合わせられた映像、「パリのおしゃれなお店」というコンセプトのもと、フランスの国旗をイメージして染めたTシャツに身を包んでの**販売**、どちらも1年生らしい一生懸命な姿が印象的でした。**2年生**は「とあるすみだの物語」というタイトルの**舞台発表**でした。見た目で判断していいの?という深い内容とストーリーがしっかりと伝わる劇で、2年生のパワーと演技力で観客の心にしみこむように伝えてくれました。**3年生**は「思い出の動画チャンネル」というタイトルの**舞台発表**で、様々な思い出を動画に見立てて演じるという劇でした。中学校生活で実際に体験した大切な思い出を、動画というツールを通じて伝えることでポップで楽しい発表となっていました。背景等の完成度も相まって、団結力を感じられ、さすが3年生という内容でした。
(中学部：佐々木 暁子)

(高等部文化祭)

【1年生】「UNTITLED CONCERT 墨田バージョン」音楽会をテーマに、音楽や美術での学習を生かした演出で音楽の素晴らしさを表現しました。フィナーレの合唱が印象的でした。

【2年生】「作業販売 本日限りの大セール」各作業班で協力をしてお店作りやあいさつ練習を行い、たくさんの製品を販売しました。練習の成果を生かして、心を込めて丁寧に販売することができました。ミニステージ発表も盛り上がっていました。

【3年生】「祝☆卒業 みんな一緒にゲームで遊ぼう!」最後になにか楽しいことがしたいとゲームパーティーをテーマに、卒業を見据えた3年生らしい堂々とした舞台でした。様々なキャラクターが登場し、一人一人の個性が発揮できました。
(高等部：深沢 菜優香)

(移動教室 高等部1年生)

10月30日(水)から二泊三日で群馬県前橋市方面へ移動教室に行っていました。雨模様であった天候は宿舎に着くころにはすっかり回復して、秋晴れの中で過ごすことができました。宿舎の国立赤城青少年交流の家は、赤城山の南麓、標高530mにある施設です。紅葉はまだまだ先でしたが、豊かな自然に囲まれた環境の中でプログラムを楽しみました。一日目は施設内フォトラリーを行いました。写真の施設を探してそこに貼ってある番号を記入するのですが、簡単と思いきやなかなか難しく各クラス白熱!優勝はE組、チームワークの勝利です。二日目午前は野外炊飯。かまどに薪を燃やして皆で作ったカレーライスが格別な味に仕上がりました!午後は、施設周辺の秋の自然を楽しみ、落ち葉や木の実を拾ってネイチャークラフトを楽しみました。三日間、生徒の思い出や絆を深めた移動教室になりました。

(高等部：高橋 忠雄)